



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月31日

上場会社名 日本化薬株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4272 URL <https://www.nipponkayaku.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 涌元 厚宏  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 川村 勉 (TEL) 03-6731-5842  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	53,645	10.4	5,570	138.6	7,278	74.2	3,566	34.0
2024年3月期第1四半期	48,584	0.6	2,333	△63.4	4,179	△51.6	2,661	△55.3

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 9,374百万円(△26.6%) 2024年3月期第1四半期 12,765百万円( 23.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	21.52	21.52
2024年3月期第1四半期	16.06	16.04

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	375,525	275,690	73.1
2024年3月期	363,173	270,548	74.2

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 274,638百万円 2024年3月期 269,560百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	22.50	—	22.50	45.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	22.50	—	22.50	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	108,400	10.7	9,000	88.8	10,300	23.9	4,500	△26.1	27.50
通期	220,800	9.4	18,100	146.7	19,500	55.2	12,000	191.7	73.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	170,503,570株	2024年3月期	170,503,570株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	5,048,515株	2024年3月期	4,638,700株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	165,728,245株	2024年3月期1Q	165,770,312株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の実績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

2024年7月31日(水)に証券アナリスト及び機関投資家向けにテレフォンカンファレンスを開催する予定であります。使用する資料等は、当社ウェブサイトに掲載する予定であります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2024年4月1日から2024年6月30日まで)の世界経済は改善傾向にはあるものの、地政学的リスクの高い状況が依然として継続しており、またヨーロッパや中国で鈍化が見られるなど不透明感があります。

このような状況の中、当社グループは2022年度より開始した中期事業計画“**KAYAKU Vision 2025**”が3年目に入り、引き続き事業ごとに定めた「ありたい姿=Vision」に向けたロードマップを実行するとともに、ありたい姿実現に向けて定めた全社重要課題に対し取組を進めています。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高はライフサイエンス事業領域が前年同四半期を下回ったものの、モビリティ&イメージング事業領域及びファインケミカルズ事業領域が前年同四半期を上回ったことにより、536億4千5百万円となり、前年同四半期に比べ50億6千万円(10.4%)増加しました。

営業利益はライフサイエンス事業領域が前年同四半期を下回ったものの、モビリティ&イメージング事業領域及びファインケミカルズ事業領域が前年同四半期を上回ったことにより55億7千万円となり、前年同四半期に比べ32億3千6百万円(138.6%)増加しました。

経常利益は為替差益等により、72億7千8百万円となり、前年同四半期に比べ30億9千9百万円(74.2%)増加しました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は投資有価証券評価損の影響もあり、35億6千6百万円となりましたが、前年同四半期に比べ9億5百万円(34.0%)増加しました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### 【モビリティ&イメージング事業領域】

売上高は228億8千万円となり、前年同四半期に比べ36億3千万円(18.9%)増加しました。

セイフティシステムズ事業は、国内は型式認証不正問題により自動車生産が停滞したことにより、エアバッグ用インフレーター及びシートベルトプリテンショナー用マイクロガスジェネレータは前年同四半期を下回りました。海外は堅調な需要に支えられ、また円安の進行により売上高が押し上げられたことにより、エアバッグ用インフレーター、シートベルトプリテンショナー用マイクロガスジェネレータ、スクイブは前年同四半期を上回りました。この結果、セイフティシステムズ事業全体としては前年同四半期を上回りました。

ポラテクノ事業は、X線分析装置用部材は堅調に推移したことに加え、円安効果もあり、前年同四半期を上回りました。偏光板は前期に実施した一部製品の価格改定の効果もあり、前年同四半期を上回りました。この結果、ポラテクノ事業全体としては前年同四半期を上回りました。

セグメント利益は両事業の売上高の増加により、37億1千1百万円となり、前年同四半期に比べ22億3千2百万円(150.8%)増加しました。

#### 【ファインケミカルズ事業領域】

売上高は161億7千9百万円となり、前年同四半期に比べ22億3千2百万円(16.0%)増加しました。

機能性材料事業は、半導体市況の回復によりエポキシ樹脂をはじめ、各製品群が堅調に推移したことにより、機能性材料事業全体で前年同四半期を上回りました。

色素材料事業は、産業用インクジェットインク、コンシューマインクジェットプリンタ用色素および感熱顕色剤が堅調に推移したことにより、色素材料事業全体で前年同四半期を上回りました。

触媒事業は、前年同四半期を下回りました。

セグメント利益は機能性材料事業及び色素材料事業の売上高が増加したことにより、23億9千9百万円となり、前年同四半期に比べ11億5千3百万円(92.6%)増加しました。

#### 【ライフサイエンス事業領域】

売上高は145億8千5百万円となり、前年同四半期に比べ8億1百万円(5.2%)減少しました。

医薬事業の国内向け製剤は、光線力学診断用剤「アラグリオ®顆粒剤分包」、バイオシミラー「アダリムマブBS」の市場浸透が進み、前年同四半期を上回りました。一方で、国内向け原薬及び輸出、受託事業は前年同四半期を下回り、診断薬は前年同四半期を上回ったものの、医薬事業全体としては前年同四半期を下回りました。

た。

アグロ事業の国内向け販売は、前年同四半期を上回ったものの、輸出が前年同四半期を下回り、アグロ事業全体としては前年同四半期を下回りました。

不動産事業は、前年同四半期並みとなりました。

セグメント利益は16億3千1百万円となり、前年同四半期に比べ6百万円(0.4%)減少しました。

## (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

総資産は3,755億2千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ123億5千1百万円増加しました。主な増加は、建物及び構築物(純額)41億9百万円、原材料及び貯蔵品37億8千5百万円、受取手形及び売掛金36億1千7百万円、現金及び預金35億6千7百万円であり、主な減少は有価証券58億6千7百万円であります。

負債は998億3千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ72億9百万円増加しました。主な増加は支払手形及び買掛金44億7千8百万円であります。

純資産は2,756億9千万円となり、前連結会計年度末に比べ51億4千1百万円増加しました。主な増加は為替換算調整勘定52億1千4百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の当社グループを取り巻く経営環境は、地政学的リスクや為替変動リスクなどによる景気の下振れリスクがありますが、半導体市況などは回復局面にあり、堅調に推移するものと見ています。

このような状況において、当社グループは事業環境の変化に対応し、株主価値を高める経営資本の最適化を進め、グローバルな成長市場で既存ビジネスの拡大と新事業・新製品の展開を加速させ、収益の拡大を図ってまいります。

なお、2024年5月13日に公表いたしました2025年3月期第2四半期(累計)連結業績予想及び通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	56,749	60,317
受取手形及び売掛金	60,268	63,885
電子記録債権	1,942	1,595
有価証券	9,428	3,560
商品及び製品	41,561	42,722
仕掛品	1,129	1,303
原材料及び貯蔵品	24,318	28,104
その他	7,951	8,248
貸倒引当金	△204	△214
流動資産合計	203,146	209,523
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	44,109	48,219
機械装置及び運搬具（純額）	26,131	26,531
その他（純額）	28,397	30,253
有形固定資産合計	98,638	105,004
無形固定資産		
のれん	783	753
その他	2,912	2,884
無形固定資産合計	3,696	3,637
投資その他の資産		
投資有価証券	45,481	44,878
退職給付に係る資産	6,735	6,867
その他	5,524	5,660
貸倒引当金	△48	△47
投資その他の資産合計	57,692	57,359
固定資産合計	160,027	166,001
資産合計	363,173	375,525

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,018	23,496
短期借入金	5,450	5,400
1年内償還予定の社債	8,000	8,000
未払金	18,669	20,329
未払法人税等	1,555	1,545
その他	7,121	7,002
流動負債合計	59,815	65,774
固定負債		
長期借入金	18,000	18,000
退職給付に係る負債	433	416
その他	14,375	15,643
固定負債合計	32,809	34,059
負債合計	92,624	99,834
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,932	14,932
資本剰余金	15,840	15,849
利益剰余金	199,214	199,048
自己株式	△5,413	△5,910
株主資本合計	224,573	223,920
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,508	17,043
為替換算調整勘定	26,241	31,455
退職給付に係る調整累計額	2,237	2,219
その他の包括利益累計額合計	44,987	50,718
非支配株主持分	987	1,051
純資産合計	270,548	275,690
負債純資産合計	363,173	375,525

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	48,584	53,645
売上原価	34,258	36,428
売上総利益	14,325	17,217
販売費及び一般管理費	11,991	11,647
営業利益	2,333	5,570
営業外収益		
受取利息	160	231
受取配当金	481	488
持分法による投資利益	152	-
為替差益	899	1,126
その他	303	139
営業外収益合計	1,996	1,987
営業外費用		
支払利息	47	90
持分法による投資損失	-	62
その他	103	124
営業外費用合計	151	278
経常利益	4,179	7,278
特別利益		
固定資産売却益	2	0
投資有価証券売却益	923	-
特別利益合計	925	0
特別損失		
固定資産処分損	184	193
投資有価証券評価損	765	1,426
特別損失合計	949	1,619
税金等調整前四半期純利益	4,155	5,659
法人税、住民税及び事業税	905	1,192
法人税等調整額	569	884
法人税等合計	1,475	2,076
四半期純利益	2,679	3,582
非支配株主に帰属する四半期純利益	18	15
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,661	3,566

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	2,679	3,582
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,383	533
為替換算調整勘定	6,719	5,275
退職給付に係る調整額	△17	△18
持分法適用会社に対する持分相当額	0	1
その他の包括利益合計	10,085	5,791
四半期包括利益	12,765	9,374
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,681	9,298
非支配株主に係る四半期包括利益	84	76

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

〔「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用〕

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20－3項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2
	モビリティ&イメージング事業領域	ファインケミカルズ事業領域	ライフサイエンス事業領域	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,250	13,946	15,387	48,584	—	48,584
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	9	0	9	△9	—
計	19,250	13,956	15,388	48,594	△9	48,584
セグメント利益	1,479	1,245	1,638	4,363	△2,029	2,333

(注) 1 セグメント利益の調整額△2,029百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,024百万円及びセグメント間取引消去△5百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2
	モビリティ&イメージング事業領域	ファインケミカルズ事業領域	ライフサイエンス事業領域	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,880	16,179	14,585	53,645	—	53,645
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	38	0	38	△38	—
計	22,880	16,217	14,585	53,683	△38	53,645
セグメント利益	3,711	2,399	1,631	7,742	△2,172	5,570

(注) 1 セグメント利益の調整額△2,172百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,155百万円及び

セグメント間取引消去△16百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	(単位：百万円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	3,253	3,318
のれんの償却額	138	35